

インクルサロン

「良かったこと探し」から始めるっていいね対話



共用品推進機構 専務理事
星川安之



新刊出版記念企画

2023年5月29日（月）19時～20時15分

Zoom配信 参加費無料 手話通訳あり



ゲスト
山名清隆さん

『「良かったこと探し」から始めるアクセシブル社会』出版記念企画

『「良かったこと探し」から始めるアクセシブル社会』(星川安之^{ほしかわやすひき} 著)の出版を記念して、「インクルサロン」と称したオンライントークイベントを開催いたします。ゲストには人の心を豊かにするユニークな活動を生み出すプロフェッショナル 山名清隆^{やまなきよたか}さんをお迎えして、共用品推進機構の前身団体「E&C プロジェクト」時代から現在まで続けている「良かったこと探し」を中心に、トークを展開します。

【皆様へのメッセージ】

山名さんと出会ったのは1990年のこと。障害の有無に関わらず共に遊べる玩具「共遊玩具」が産声をあげた時、「ハイジア」(東京都新宿区)で行った「共遊玩具の展示会」を共同で行ったことで意気投合。その後、共用品推進機構の前身「E&Cプロジェクト」が行うイベントでは、多くの人を惹きつけるアイデアを出し続け、共用品が離陸するのを共に楽しみながら行ってきました。財団法人化と共に発行を始めた機関誌『インクル』の名付け親も、実は山名さんです。

山名さんは、地下空間でのコンサート、スマートドライバー、愛妻家協会、そしてミズベリングと、次から次へと社会に、新しい「良かったこと」を産み出しています。

お互いが関わってきた「良かったこと」について語ると共に、山名さんが大切にしている「良いこと、楽しいことを、みなで共有(シェア)すること」を踏まえて、今後の社会についても話してみたいと思っています。

月曜日の夜、皆様と「良かったこと」を共有(シェア)できれば幸いです。

公益財団法人共用品推進機構 星川安之

出演者の情報は別紙1をご覧ください。

『「良かったこと探し」から始めるアクセシブル社会』出版記念企画 インクルサロン「良かったこと探し」から始めるっていいね対話

日時:2023年5月29日(月)19時~20時15分

配信方法:オンライン会議システム Zoom ウェビナー (手話通訳があります。)

インクルサロンのご参加には事前の登録が必要です。参加費は無料です。

以下の URL か、右の QR コードから**5月22日までに**申し込み(事前登録)を行ってください。

<https://forms.gle/sxGQE67NN3XU1hDY7>

(Google フォームを使用しています。)



登録ができない、URL が開かない場合などは、共用品推進機構イベント系のメールアドレス宛に、お名前、メールアドレス、ご所属、緊急連絡先(電話、ファックスなど)を書いてご送付いただくか、以下の別フォームから登録をお願いいたします。

<https://forms.office.com/r/JPbYc9hmdp>

(Microsoft Forms を使用しています。)

Zoom 配信開始の一週間前にご登録いただいたメールアドレスに視聴 URL をご送付します。配信開始日になっても URL が届かない場合は、お手数ですが共用品推進機構イベント系のメールアドレスまでにお知らせください。

共用品推進機構イベント係 kyoyohin.event@kyoyohin.org

【書籍の紹介】



『「良かったこと探し」から始める アクセシブル社会
障害のある人の日常からヒントを探る』(小学館)

障害のある人の日常から共生社会を考える

著者の共用品推進機構は、長年、障害者に対して、日常生活で感じている「不便なモノやコト」「良かったモノやコト」を調査してきた。そこに寄せられた多くのナマの声を紹介。また、それらの声に向き合っ、たとえばシャンプー・リンス・アルコール飲料などの触覚記号(容器のギザギザ)などが導入されてきた経緯なども紹介する。

「誰かの不便さ」をみんなの「使いやすさ」に変えていくための、些細な配慮や心が温くなるストーリーも紹介。

〈 編集者からのおすすめ情報 〉

「視線によって障害者はつくられる」とは、ある障害者が言った言葉ですが、誰の心の中にもあるこの「バリアー」をなくすためのきっかけになる 1 冊です。

【共用品推進機構 出版物[市販書籍] サイト】

<https://www.kyoyohin.org/ja/publicity/publish.php>

別紙1:出演者プロフィール

【山名清隆(やまなきよたか)さん】



ミズベリングプロジェクトプロデューサー
(株)スコップ代表取締役社長

1960年静岡県菊川市生まれ。東京デザイナー学院名古屋校卒。
EXPO85 日本政府館ディレクター、米国フードトレンド情報誌編集長、
TV 番組キャスターなどを経て、広報プロデュース会社を起業。首都圏
外郭放水路、東京外環自動車道、日比谷共同溝、首都高山手トンネル、
鶴見川遊水地など大型公共事業の広報計画を多数手がける。

近年はソーシャルデザイン型公民連携プロジェクトを創出。夫婦環境を
保全する「日本愛妻家協会」、褒めて事故を減らす「東京スマートドライ
バー」、水辺の創造力を高める「ミズベリング」など、重い社会課題をポジティブなムーブメント
に変えるプロジェクトを展開している。

日本愛妻家協会の活動を通じ NETFLIX、CNN、BBC、アルジャジーラ、NHK など国内外の
多数のメディアに対応。妻と共に国際社会での日本人男性像を変える努力をしている。

東京大学、神戸大学、山形芸術工科大学、国土交通大学校などで講義。

地域づくり総務大臣表彰。2018年 GOOD DESIGN 賞経済産業大臣賞など。

ミズベリング <https://mizbering.jp/>

日本愛妻家協会 <http://aisaika.org/>

【星川安之(ほしかわ やすゆき)】



1980年、トミー工業株式会社(現タカラトミー)に入社後、障がいのある
子どもたちが遊べる玩具開発に携わり、目の不自由な子どもたちの
玩具(メロディボール等)の開発を行った後、1991年に企業人やデザ
イナー、主婦や学生、障害のある人と共に「バリアフリー社会の実現」と
いう目的のもとで任意団体を発足。障害のある人や高齢の人などの不
便さを解消するために活動した後に、この団体を発展的に解消し、
1999年障害の有無や年齢の高低に関わりなく、より多くの人を使い

やすい製品、施設、サービスを開発する「財団法人共用品推進機構」を設立、2012年に公益財
団法人。